

新型コロナウイルス関連肺炎

マスクの着用や手洗いの徹底を!!

中華人民共和国湖北省武漢市内において、昨年12月以降、新型コロナウイルス関連肺炎の発生が多数報告されています。今年に入り、日本でも感染者が確認され、政府が対策を講じています。過剰な心配は必要ありませんが、風邪やインフルエンザが多い時期であることも踏まえて、マスクの着用等の咳エチケットや手洗いの徹底など、通常の感染症予防に努めてください。

湖北省(武漢市等)に渡航した人 または その接触者

新型ウイルスの潜伏期間は1～14日とみられています。しかし、潜伏期間中にも感染する可能性があるとの認識が示されており、武漢に渡航していた日または武漢に渡航していた有症状者と接触した日から14日間は注意して体調を観察しましょう。



新型コロナウイルス関連肺炎の症状

発熱(37.5℃以上)、呼吸器症状(咳や息苦しさ等)、筋肉痛、倦怠感



咳や発熱等の症状がある場合

マスクを着用するなどの咳エチケットを実施し、武漢市の滞在歴または滞在者との接触があったことを医療機関に連絡した上で、医療機関の指示に従って受診するようにしてください。

今できる感染対策

新型コロナウイルスに関する情報収集

新型のウイルスであり、現時点ではその正確な実態はわかっていません。新型コロナウイルスに関する情報は、ニュースや厚生労働省のホームページなどで日々更新されています。新型コロナウイルスの感染を防ぐためにも、最新の情報を入手し、感染が確認された地域に行かないなどの対策をとるようにしましょう。

手洗い・うがい

石鹸やアルコール製剤で手指を清潔にしましょう。特に食事前や外出後には必ずしましょう。



咳エチケット

咳エチケットは感染症を他人に感染させないため咳やしゃみの際に、服のそで・マスク・ハンカチ・ティッシュ等で口や鼻をおさえることです。



人混みや流行地への外出を控える

特に電車やバス等の密閉空間では感染のリスクが高まります。外出する際はマスクを付けましょう。

発行：愛媛大学総合健康センター

089-927-9193

s_kenko@stu.ehime-u.ac.jp